令和７年度

福岡県公立学校教員

採用候補者選考試験問題

養　護　教　員

1　養護教員の問題は下記のとおりです。
　　択一問題　　問１ ～問20
　　記述問題　　問21～問26

2　択一問題は，全て「ＯＣＲ解答用紙」に記入してください。

3　記述問題は，全て「解答用紙（記述用）」に記入してください。

問１ ～ 問20 の解答は，全て [　　] の①～⑤から一つ選び，その番号を「ＯＣＲ解答用紙」にマークしなさい。

問１　次のア～オの各文は，学校保健について述べたものである。「学校保健安全法」（昭和33年法律第56号），「学校保健安全法施行令」（昭和33年政令第174号）及び「学校保健安全法施行規則」（昭和33年文部省令第18号）に照らして，正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　学校には，健康診断，健康相談，保健指導，救急処置その他の保健に関する措置を行うため，保健室を設けるものとされている。

イ　校長は，当該校区域内に住所を有する者の就学に当たって，就学時の健康診断を，入学する三か月前までの間に行わなければならない。

ウ　学校において予防すべき感染症のうち，第一種として，エボラ出血熱，パラチフス，ジフテリア，痘そう，コレラ，マールブルグ病などがあり，出席停止の期間は治癒するまでである。

エ　学校薬剤師の職務には，学校において使用する医薬品，毒物，劇物並びに保健管理に必要な用具及び材料の管理に関し必要な指導及び助言を行い，及びこれらのものについて必要に応じ試験，検査又は鑑定を行うことが含まれる。

オ　児童生徒等の健康診断票は，五年間保存しなければならない。ただし，進学前の学校から送付を受けた児童又は生徒の健康診断票は，当該健康診断票に係る児童又は生徒が進学前の学校を卒業した日から五年間とする。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	〇	〇	×	×	×
②	〇	×	×	〇	〇
③	×	×	〇	×	〇
④	〇	×	〇	×	×
⑤	×	〇	〇	〇	×

問２　次の文は，「学校保健安全法施行規則」（昭和33年文部省令第18号）の条文の一部を抜粋したものである。文中の下線部ａ～ｅについて，正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

（出席停止の期間の基準）
第十九条　令第六条第二項の出席停止の期間の基準は，前条の感染症の種類に従い，次のとおりとする。
一　（略）
二　第二種の感染症（略）にかかつた者については，次の期間。ただし，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは，この限りでない。
イ　（略）
ロ　百日咳にあつては，a特有の咳が消失するまで又は五日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。
ハ　（略）
ニ　（略）
ホ　風しんにあつては，b解熱した後三日を経過するまで。
ヘ　（略）
ト　咽頭結膜熱にあつては，c主要症状が消退した後二日を経過するまで。
チ　新型コロナウイルス感染症にあつては，発症した後五日を経過し，かつ，d症状が軽快した後二日を経過するまで。
三　結核，e髄膜炎菌性髄膜炎及び第三種の感染症にかかつた者については，病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

	a	b	c	d	e
①	〇	×	〇	〇	×
②	×	〇	×	×	〇
③	〇	〇	×	〇	×
④	〇	×	〇	×	〇
⑤	×	〇	〇	×	×

問３　次のア～オの各文は，「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」（平成27年８月公益財団法人日本学校保健会）「第２章　健康診断時に注意すべき疾病及び異常」の耳鼻咽喉科関連について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　慢性中耳炎は，鼓膜に穿孔がなく，中耳腔に貯留液があり難聴の原因となるが，耳痛や発熱のない中耳炎である。

イ　外耳～中耳に原因のある場合を感音難聴，内耳に障がいがある場合を伝音難聴という。

ウ　児童生徒等の慢性副鼻腔炎は成人と比較して予後は良好で，増悪と寛解を繰り返しているうちに，その多くは自然治癒する。

エ　機能性発声障害は医療機関への受診だけでは解決しない問題が多く，医療機関と学校，家庭との連携が重要となる。

オ　扁桃肥大は，３歳から10歳で大きく，その後は年齢とともに小さくなっていくことが多い。扁桃が大きいため，呼吸，嚥下や発音に影響を及ぼすことがある。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	〇	×	×	〇
②	〇	×	×	×	〇
③	〇	×	〇	〇	×
④	×	〇	〇	×	×
⑤	×	×	〇	〇	〇

問４　次の表は，学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示第60号）「第４　水泳プールに係る学校環境衛生基準」の一部を抜粋したものである。下線部ａ～ｅについて，正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

検査項目		基準
水質	⑴　遊離残留塩素	a0.1mg／L以上であること。 また，b0.4mg／L以下であることが望ましい。
	⑵　ｐＨ値	5.8 以上8.6 以下であること。
	⑶　大腸菌	検出されないこと。
	⑷　一般細菌	１mL中c300コロニー以下であること。
	⑸　有機物等（d過マンガン酸カリウム消費量）	12mg／L以下であること。
	⑹　濁度	e２度以下であること。
	⑺　総トリハロメタン	0.2mg／L以下であることが望ましい。
	⑻　循環ろ過装置の処理水	循環ろ過装置の出口における濁度は，0.5度以下であること。また，0.1度以下であることが望ましい。

	a	b	c	d	e
①	×	×	×	〇	〇
②	〇	〇	×	〇	×
③	×	〇	〇	×	×
④	〇	×	〇	×	〇
⑤	×	×	〇	〇	×

問５　次のア～オの各文は，学校における救急処置について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　ＡＥＤを使用する場合，胸が濡れていると電気が体表の水を伝わってしまうためにＡＥＤの効果が十分に発揮されない。乾いた布やタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付ける。

イ　医薬品，漂白剤，洗剤，化粧品，殺虫剤，園芸用品などは中毒を引き起こす原因となる物質であるため，毒物を飲んだ際は，どの毒物であっても，まずはすぐに吐かせることが重要である。

ウ　骨折が疑われ，副子で固定する際は，骨折部を挟んだ上下の関節を固定できる長さの副子を使用する。

エ　アキレス腱の断裂が疑われるときは，つま先を伸ばした状態で下向きに寝かせて副子の上に固定し，医療機関へ搬送する。

オ　傷病者を担架に寝かせて搬送する時，平地では原則として傷病者の頭の方向へ進む。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	〇	〇	×	×	×
②	〇	×	〇	〇	×
③	×	×	〇	〇	〇
④	〇	×	×	×	〇
⑤	×	〇	〇	×	×

問６　次のア～オの各文は，ヒトの消化器のつくりと働きについて述べたものである。正しい文の組合せを選びなさい。

ア　胃は，左上腹部にあり，消化管の最も広がった部分である。胃の食道につながる部分を幽門，十二指腸につながる部分を噴門という。胃では少量の水とアルコールが吸収されるのみで，その他のものは吸収されない。

イ　小腸は胃に続く長い管である。小腸の最初の部分である十二指腸には，胆管と膵管が合流した総胆管が開口している。小腸と大腸の境目には回盲弁があり，内容物の逆流を防いでいる。

ウ　肝臓は，主として脂溶性の有毒物質を，毒性の低い物質にかえて尿中に排泄したり，胆汁として腸管内に排泄したりする。たとえば，タンパク質の分解によって生じたアンモニアは，肝細胞によって毒性の少ない尿素にかえられる。

エ　肝臓には，酸素を多く含んだ動脈血が流れる肝動脈ばかりでなく，胃・小腸・脾臓・膵臓からの静脈血が中心静脈を通って流入する。肝臓を流れる全血液量のうち，約1/5は中心静脈から，4/5は肝動脈から流入する。

オ　栄養素はほとんどが小腸で吸収されるため，大腸では水と電解質のみが吸収される。結腸は大腸の大部分を占め，上行，横行，下行，Ｓ状結腸の４部に分かれる。

①	ア・イ・ウ
②	ア・ウ・エ
③	ア・エ・オ
④	イ・ウ・オ
⑤	イ・エ・オ

問７　次のア～オの各文は，学校保健計画について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　学校教育法第12条により，児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため，全ての学校で策定が義務付けられているものである。

イ　環境衛生検査に関する項目は，計画の内容に含む必要はない。

ウ　保健室経営計画を踏まえた上で，児童生徒等の心身の健康課題を把握している養護教諭が中心となって作成する。

エ　学校保健に関する取組を進めるに当たっては，保護者や関係機関等との連携協力が重要であるため，計画の内容については，原則として保護者等の関係者に周知を図ることとされている。

オ　計画の評価は全教職員が行い，目標に準拠した評価を行う。評価方法・内容等については各学校の実態に応じて作成する。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	×	×	〇	〇
②	〇	×	〇	×	〇
③	×	〇	〇	×	〇
④	〇	〇	×	×	×
⑤	×	×	〇	〇	×

問８　次のア～オの各文は，中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年文部科学省）「第２章　保健体育科の目標及び内容」「第２節　各分野の目標及び内容」〔保健分野〕「２　内容」「⑶　傷害の防止」において，理解できるようにすると示された事項について述べたものである。正しい文の組合せを選びなさい。

ア　交通事故などによる傷害を防止するためには，人的要因や環境要因に関わる危険を予測し，それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であること。

イ　交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じること。

ウ　自然災害による傷害の防止には，日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと，緊急地震速報を含む災害情報を正確に把握すること，地震などが発生した時や発生した後，周囲の状況を的確に判断し，自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があること。

エ　傷害が発生した際に，その場に居合わせた人が行う応急手当としては，傷害を受けた人の反応の確認等状況の把握と同時に，周囲の人への連絡，傷害の状態に応じた手当が基本であり，迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できること。

オ　自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること。

①	ア・イ・エ
②	ア・イ・オ
③	ア・ウ・エ
④	イ・ウ・オ
⑤	ウ・エ・オ

問９　次の文は，中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年文部科学省）「第２章　保健体育科の目標及び内容」「第２節　各分野の目標及び内容」〔保健分野〕「２　内容」「⑴　健康な生活と疾病の予防」「ア　知識」の一部を抜粋したものである。文中の（　ａ　）～（　ｄ　）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

> (ｳ) 生活習慣病などの予防
>
> ㋐　生活習慣病の予防
>
> 生活習慣病は，日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり，適切な対策を講ずることにより予防できることを，例えば，（　ａ　），脳血管疾患，（　ｂ　）などを適宜取り上げ理解できるようにする。
>
> (略)
>
> 生活習慣病を予防するには，適度な運動を定期的に行うこと，毎日の食事における量や頻度，栄養素のバランスを整えること，（　ｃ　）をしないこと，（　ｄ　）を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

	a	b	c	d
①	がん	糖尿病	ストレス過多な生活	口腔の衛生
②	心臓病	糖尿病	喫煙や過度の飲酒	適正体重
③	がん	歯周病	喫煙や過度の飲酒	適正体重
④	心臓病	歯周病	喫煙や過度の飲酒	口腔の衛生
⑤	心臓病	糖尿病	ストレス過多な生活	適正体重

問10　次の文は，「学校保健安全法」（昭和33年法律第56号）の条文の一部を抜粋したものである。文中の下線部ａ～ｅについて，正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

> 第九条　a養護教諭その他の職員は，相互に連携して，健康相談又は児童生徒等のb行動等のc定期的な観察により，児童生徒等のd心身の状況を把握し，健康上の問題があると認めるときは，遅滞なく，当該児童生徒等に対して必要なe支援を行うとともに，必要に応じ，その保護者（略）に対して必要な助言を行うものとする。

	a	b	c	d	e
①	〇	×	×	〇	×
②	×	×	〇	×	〇
③	〇	〇	×	×	×
④	×	〇	×	×	〇
⑤	〇	×	〇	〇	×

問11　次の各文は，感染症について述べたものである。「ヘルパンギーナ」の特徴に最も当てはまるものを選びなさい。

①	感染経路は，飛沫感染，接触感染。淡紅色の発しん，発熱，耳後部－頸部のリンパ節の腫脹と圧痛を訴える感染症である。脳炎，血小板減少性紫斑病，関節炎等の合併症がみられることがある。
②	感染経路は，飛沫感染，接触感染，経口感染。口腔粘膜と四肢末端に水疱性発しんを生じる感染症で流行のピークは夏季である。発熱はあまり高くはならないことが多く，１－３日で解熱する。
③	感染経路は，飛沫感染と接触感染。発熱，鼻汁，咳，喘鳴がみられる疾患で，秋冬期を中心に流行する。細気管支炎，肺炎を合併して呼吸困難に陥ることもある呼吸器感染症である。
④	感染経路は，飛沫感染，接触感染，経口感染。嘔吐と下痢が突然始まることが特徴の疾患である。便中や吐物に多量のウイルスが排出されており，感染源となる。感染力も強い。
⑤	感染経路は，飛沫感染，接触感染，経口感染。突然の発熱（39℃以上），咽頭痛がみられる。咽頭に赤い発しんがみられ，次に水疱，間もなく潰瘍となる。春から夏にかけて多く発生し，流行のピークは７月頃である。

問12　次の各文は，潰瘍性大腸炎について述べたものである。適切でないものを選びなさい。

①	大腸及び小腸の粘膜に慢性の炎症または潰瘍を引き起こす原因不明の疾患の総称を炎症性腸疾患といい，狭義には潰瘍性大腸炎とクローン病に分類される。
②	症状としては，下痢や血便が認められる。痙攣性または持続的な腹痛を伴うこともある。重症になると，発熱，体重減少，貧血などの全身の症状が起こる。
③	現在のところ原因が不明であり，国が定めた指定難病の一つである。
④	原則的には薬による内科的治療が行われる。しかし，重症の場合や薬物療法が効かない場合には手術が必要となる。
⑤	学童期や思春期に発症することが多く，30歳代以降での発症は少ない。男性と女性の比は，約２：１と男性に多くみられる。

問13　次のア～オの各文は，学校検尿で発見される疾病及び異常について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　成人と比較して，子供では感染症や自己免疫疾患などに合併しておこる糸球体腎炎の頻度が高く，原発性（全身性の疾患の一症状ではない）糸球体腎炎の頻度が低い。

イ　以前は慢性腎臓病の原因として慢性糸球体腎炎が最も多かったが，学校検尿によるIgA腎症の早期発見と適切な治療によりその予後が改善し，小児期に透析療法を開始することになる患者は減少している。

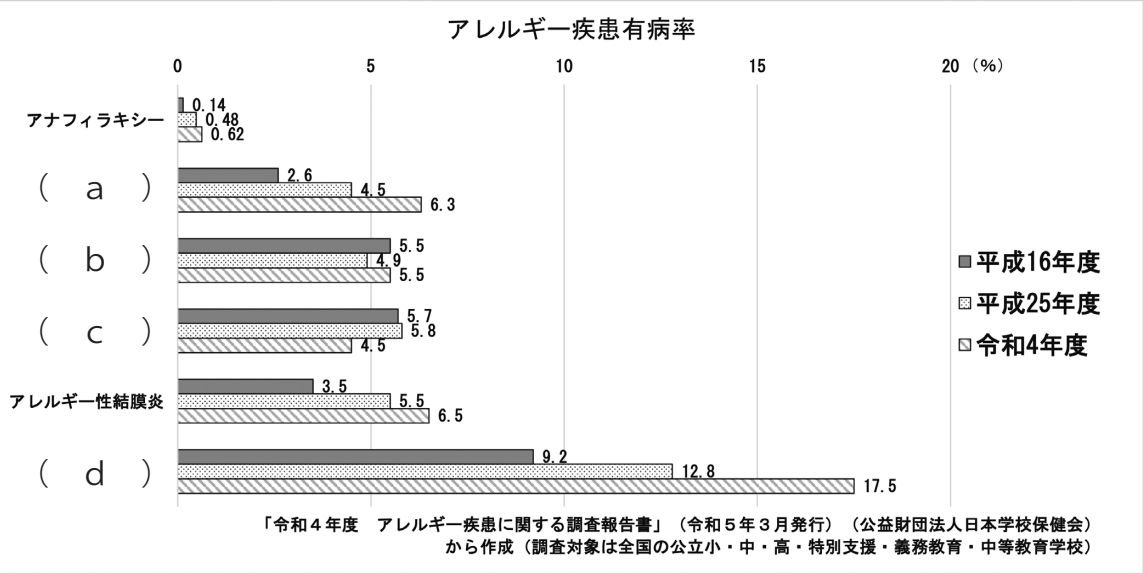
ウ　尿路感染症とは，細菌などの病原体が腎・尿路に進入して炎症を起こす疾患である。発熱，側腹部痛，背部痛などを呈する上部尿路（腎臓，尿管）感染症と頻尿，排尿痛，残尿感などを呈する下部尿路（膀胱，尿道）感染症に大別される。

エ　糖尿病は１型と２型に分けられ，１型はインスリンが分泌されている状態だが，過食，運動不足などにより高血糖状態が続いている場合をいう。家族歴のある児童生徒等に発症する傾向がある。

オ　急性糸球体腎炎は突然，血尿，浮腫（むくみ），高血圧などがみられる病気で，溶連菌感染症に感染し，治療が不十分な場合に併発する場合がある。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	〇	〇	×	×	×
②	〇	×	×	×	〇
③	×	〇	〇	×	〇
④	×	〇	×	〇	〇
⑤	〇	×	〇	〇	×

問14　次のグラフは，アレルギー疾患有病率について示したものである。グラフ中の（　a　）～（　d　）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。



「令和４年度　アレルギー疾患に関する調査報告書」（令和５年３月発行）（公益財団法人日本学校保健会）から作成（調査対象は全国の公立小・中・高・特別支援・義務教育・中等教育学校）

	a	b	c	d
①	アレルギー性鼻炎	アトピー性皮膚炎	ぜん息	食物アレルギー
②	食物アレルギー	アトピー性皮膚炎	ぜん息	アレルギー性鼻炎
③	食物アレルギー	ぜん息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎
④	アレルギー性鼻炎	ぜん息	アトピー性皮膚炎	食物アレルギー
⑤	ぜん息	アトピー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	食物アレルギー

問15　次の文は，発達障害者支援法（平成16年法律第167号）の条文の一部を抜粋したものである。文中の（　ア　）～（　ウ　）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

> 第二条　この法律において「発達障害」とは，（　ア　），アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害，（　イ　），注意欠陥多動性障害その他これに類する（　ウ　）の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

	ア	イ	ウ
①	高機能自閉症	学習障害	脳機能
②	自閉症	情緒障害	認知機能
③	自閉症	学習障害	脳機能
④	高機能自閉症	情緒障害	脳機能
⑤	高機能自閉症	学習障害	認知機能

問16　次のア～オの各文は，梅毒について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　感染者の病変のある部位と，非感染者の粘膜や傷口が直接接触することで感染する性感染症の一つであり，病原体は梅毒トレポネーマウイルスである。

イ　感染から３週間程度の初期には，感染を起こした部位にしこりなどができることがあるが，痛みはないことも多く，治療をしなくても症状は自然に軽快するが，ひそかに病気が進行する場合がある。

ウ　感染後，治療をせずに３か月程度を経過すると，「バラ疹（ばらしん）」とよばれる淡い赤い色の発しんが，手のひら，足の裏，体幹部などに出ることがある。発しんは強いかゆみを伴い，自然に軽快することはない。

エ　妊娠している人が梅毒にかかると，流産，死産となったり，子が梅毒にかかった状態で生まれる先天梅毒となることがある。感染した妊婦への適切な治療によって，母子感染するリスクを下げることができる。

オ　2023年の感染者報告数は約15,000人で，2013年の報告数の約12倍となっており，女性は20歳代の報告数が最も多い。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	×	〇	〇	×
②	〇	〇	〇	〇	×
③	×	〇	×	〇	〇
④	〇	×	×	×	〇
⑤	×	〇	〇	×	×

問17　次の表は，「薬物乱用防止教室マニュアル（令和５年度改訂）」（令和６年３月公益財団法人日本学校保健会）に示された薬物の種類と特徴について述べたものである。表中の（　ア　）～（　エ　）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

＜主な乱用される薬物の種類と特徴＞

薬物	中枢作用	精神依存	身体依存	耐性	乱用時の主な症状		精神毒性
					催幻覚	その他	
（　ア　）	抑制	＋＋	＋＋	＋＋	－	酩酊，脱抑制，運動失調	＋
（　イ　）	興奮	＋＋＋	－	＋	－	瞳孔散大，血圧上昇，興奮，不眠，食欲低下	＋＋＋
（　ウ　）	抑制	＋	±	＋	＋	酩酊，脱抑制，運動失調	＋＋
（　エ　）	抑制	＋	±	＋	＋＋	眼球充血，感覚変容，情動の変化	＋
ＭＤＭＡ	興奮	＋＋＋	－	＋	＋	瞳孔散大，血圧上昇，興奮，不眠，食欲低下	＋＋＋

［注］　精神毒性：精神病惹起作用

＋－：有無および相対的な強さを表す。ただし，各薬物の有害性は，上記の＋－のみで評価されるわけではなく，結果として個人の社会生活および社会全体に及ぼす影響の大きさも含めて，総合的に評価される。

	ア	イ	ウ	エ
①	アルコール	あへん類	シンナー	覚醒剤
②	シンナー	あへん類	アルコール	覚醒剤
③	あへん類	覚醒剤	アルコール	シンナー
④	アルコール	覚醒剤	シンナー	大麻
⑤	あへん類	アルコール	シンナー	大麻

問18　次のア～オの各文は，独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度について述べたものである。正しいものを〇，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

ア　災害共済給付を受ける権利は，その給付事由が生じた日から２年間請求を行わないときは，時効によって消滅する。

イ　学校の寄宿舎に居住する児童生徒等が当該寄宿舎においてけがをした場合，学校の管理下の災害として給付の対象となる。

ウ　ガーゼやテープ，包帯等の衛生材料については，治療用装具の給付対象となる。

エ　地域のスポーツ団体等の活動中にけがをした場合は，災害共済給付の給付対象となる。

オ　学校の管理下外で自殺した場合も，学校の管理下にあるときの「いじめ」等の事実が明らかな場合は，「学校の管理下において発生した事件に起因する死亡」として給付の対象となる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	〇	〇	×	×
②	〇	〇	×	×	〇
③	〇	×	〇	〇	×
④	×	×	〇	×	〇
⑤	〇	×	×	〇	×

問19　次の各文は，目と目の健康について述べたものである。適切でないものを選びなさい。

①	近視の人が将来様々な目の病気にかかる率は，近視ではない人が将来様々な目の病気にかかる率と比較した場合，差はみられない。
②	令和４年度の学校保健統計調査によると，裸眼視力1.0未満の児童生徒の割合は，調査開始の昭和54年度と比較すると増加傾向にある。
③	霰粒腫とは，まぶたの慢性肉芽性炎症であり，圧痛や自発痛はないが，炎症が治まっても，しこりが残ることが少なくない。
④	暗所での視力が低下する夜盲という症状がみられる場合，その原因としてビタミンＡの欠乏が考えられる。
⑤	視線を中央に寄せる眼球運動を輻湊運動という。近くのものを見て作業する時には，この輻湊運動が強く働くため，目の疲れの原因となる。

問20　次の表は，ある中学生の健康診断票（歯・口腔）の一部であり，下のア～オの各文は，「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27 年度改訂）」（平成27年８月公益財団法人日本学校保健会）に基づき，その判定結果を述べたものである。正しいものを○，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

健康診断票（歯・口腔）

顎関節	歯列・咬合	歯垢の状態	歯肉の状態	歯式
				「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」（平成27年8月公益財団法人日本学校保健会）の児童生徒健康診断票（歯・口腔）記入上の注意に基づき、記入する。
⓪	0	0	0	8 ~~7~~ 6 C / ~~5~~ / 4 ○ / ~~3~~ / ~~2~~ / ~~1~~ / 1 ○ / 2 CO / ~~3~~ / ~~4~~ / 5 ○ / 6 C / 7 CO / 8
1	1	①	①	上下 右：E D C B A / E D C B A　　A A B C× D E / A A B C D E　　左 上下
2	②	2	2	8 7 CO 6 C / 5 ○ / 4 △ / ~~3~~ / ~~2~~ / ~~1~~ / ~~1~~ / ~~2~~ / 3 ○ / 4 ○ / 5 C / ~~6~~ / 7 ○ / 8

ア　歯列・咬合の状態は，「専門医（歯科医師）による診断が必要」と判定された。

イ　歯垢の状態は，「定期的観察が必要」と判定された。

ウ　永久歯のう歯は，未処置歯４本と処置歯７本である。

エ　要観察歯は，永久歯３本と乳歯１本である。

オ　現在歯数は，永久歯が28本，乳歯が1 本である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	×	×	×	○
②	×	×	○	○	○
③	○	○	×	○	×
④	×	○	×	×	○
⑤	○	×	○	×	×

※　以下の問題は記述問題とする。
次の 問21 ～ 問26 の解答は，全て「解答用紙（記述用）」に記入しなさい。

問21　次の文は，小学校学習指導要領（平成29年３月告示）「第２章　各教科」「第９節　体育」「第２　各学年の目標及び内容」〔第３学年及び第４学年〕「２　内容」「G　保健」の一部を抜粋したものである。文中の（　a　）～（　e　）に当てはまる語句を記入しなさい。

⑵　体の発育・発達について，課題を見付け，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　体の発育・発達について理解すること。
㋐　体は，年齢に伴って変化すること。また，体の発育・発達には，（　a　）があること。
㋑　体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，（　b　），（　c　）などが起こったりすること。また，異性への関心が芽生えること。
㋒　体をよりよく発育・発達させるには，適切な（　d　），食事，休養及び（　e　）が必要であること。

問22　次の文は，養護教諭の職務について述べたものである。文中の（　ア　）～（　オ　）に当てはまる語句を記入しなさい。ただし，同じ記号には，同じ語句が入る。

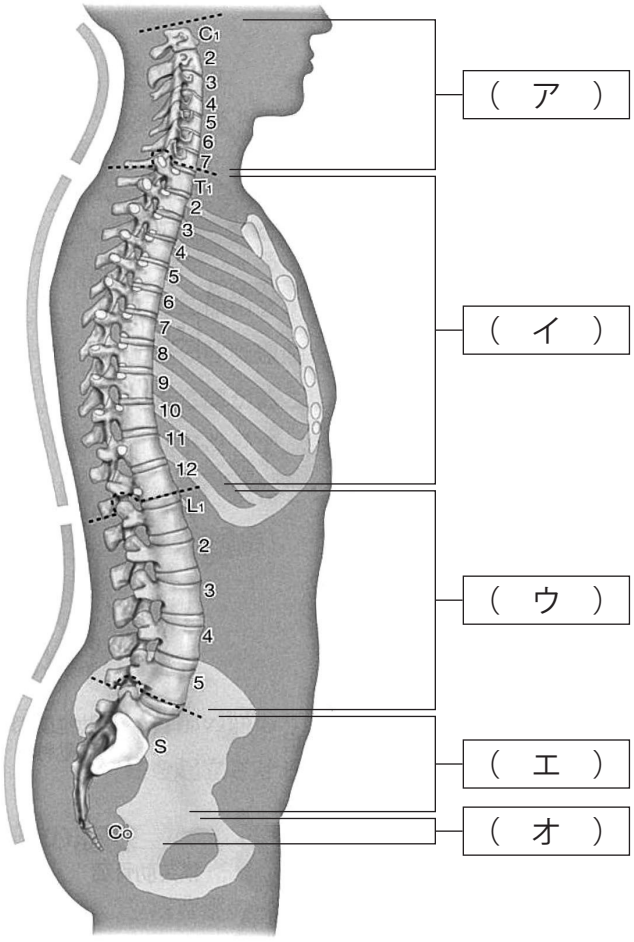
養護教諭の職務は，学校教育法で児童生徒の（　ア　）と定められており，平成20年１月の中央教育審議会答申「子どもの心身の健康を守り，安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」において，救急処置，健康診断，疾病予防などの（　イ　），（　ウ　），健康相談活動，（　エ　），（　オ　）等と整理された。また，令和５年１月に公表された「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議　議論の取りまとめ」においては，養護教諭の専門性を生かした職務について，（　イ　），（　ウ　），健康相談及び保健指導，（　エ　），（　オ　）と整理されている。

問23　次の文は，「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」（平成27年８月公益財団法人日本学校保健会）「第１章　児童，生徒，学生及び幼児の健康診断の実施」の身長の検査方法について述べたものである。文中の（　ア　）～（　ウ　）に当てはまる語句を記入しなさい。

1　測定の際は必ず裸足で行う。
2　身長計の踏み台に上がらせ，両かかとをよくつけて直立させる。
3　尺柱には，両かかと，（　ア　），背の一部が触れた状態とする。
　＊正面から見ると，身体の（　イ　）と尺柱が重なっていなければならない。
4　上肢は体側に垂れさせる。
5　頭位を（　ウ　）に保つため，軽く顎を引かせる。

問24　次の文は，ヒトの脊柱について述べたものであり，下の図は脊柱を示したものである。文中及び図中の（　ア　）～（　オ　）に当てはまる語句を記入しなさい。ただし，同じ記号には同じ語句が入る。

体幹の骨格は，脊柱が中心であり，上から順に（　ア　）（7 椎骨），（　イ　）（12 椎骨），（　ウ　）（5 椎骨），（　エ　）（5 椎骨からなる），（　オ　）（3～5 椎骨からなる）に分かれている。



問25　次の表は，自殺の危険が高まった子どもへの対応において求められる「ＴＡＬＫの原則」について示したものである。表中の（　ア　）～（　エ　）には当てはまる英単語を，（　オ　）～（　キ　）には対応の内容を記入しなさい。

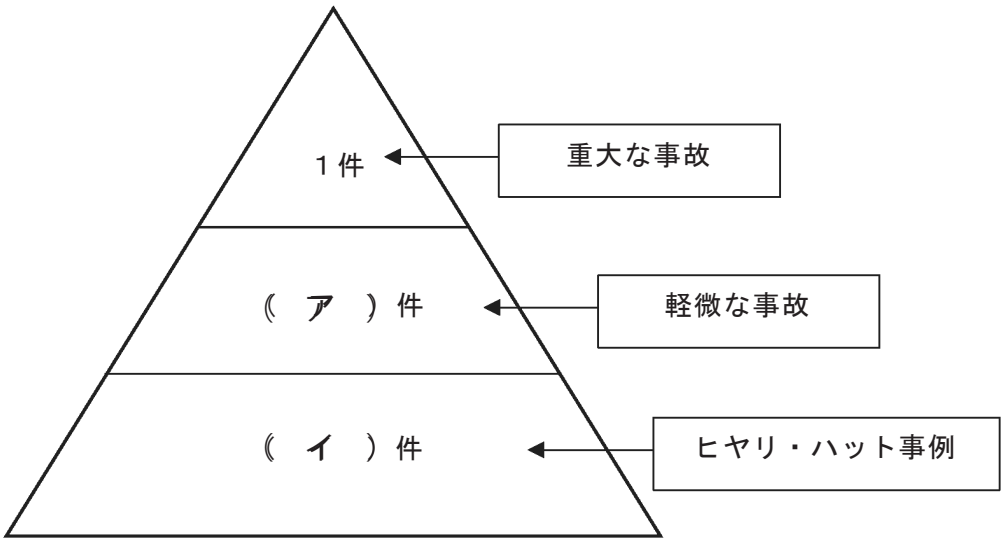
ＴＡＬＫの原則

Ｔ	（　ア　）	言葉に出して（　オ　）。
Ａ	Ａｓｋ	「死にたい」という気持ちについて，率直に尋ねる。
Ｌ	（　イ　）	（　カ　）。
Ｋ	（　ウ　）（　エ　）	（　キ　）。

問26　次の文は，「ハインリッヒの法則」について述べたものである。文中の（　ア　），（　イ　）に当てはまる数字を記入しなさい。

「ハインリッヒの法則」とは，１件の重大事故が発生する場合、その陰には（　ア　）件の軽微な事故が起きており，さらに（　イ　）件のヒヤリ・ハット（事故には至らなかったものの，ヒヤリとした，あるいはハッとした事例）が発生しているというものである。

重大事故の予防のために，過去に発生した事件・事故や災害はもとより，重大な事故等に至らなかったもののその可能性があったと考えられる事例（ヒヤリ・ハット事例）を教訓として，類似の事故等の再発を防ぐことは重要である。



令和７年度福岡県公立学校教員採用候補者選考試験解答及び配点

教科名　　養護教員

	解　答	配　点		解　答	配　点
問 1	②	5	問 31		
問 2	④	5	問 32		
問 3	⑤	5	問 33		
問 4	①	5	問 34		
問 5	②	5	問 35		
問 6	④	5	問 36		
問 7	①	5	問 37		
問 8	③	5	問 38		
問 9	④	5	問 39		
問 10	①	5	問 40		
問 11	⑤	5	問 41		
問 12	⑤	5	問 42		
問 13	③	5	問 43		
問 14	②	5	問 44		
問 15	③	5	問 45		
問 16	③	5	問 46		
問 17	④	5	問 47		
問 18	②	5	問 48		
問 19	①	5	問 49		
問 20	⑤	5	問 50		
問 21	記述	10	問 51		
問 22	記述	10	問 52		
問 23	記述	6	問 53		
問 24	記述	10	問 54		
問 25	記述	10	問 55		
問 26	記述	4	問 56		
問 27			問 57		
問 28			問 58		
問 29			問 59		
問 30			問 60		

解答用紙（記述用）

（令和７年度）

受験番号	氏　　名
第　　番	解答例

養護教員	１の１

問 21（２点×５）

a	個人差	b	初経	c	精通
d	運動	e	睡眠		

問 22（２点×５）

ア	養護をつかさどる	イ	保健管理	ウ	保健教育
エ	保健室経営	オ	保健組織活動		

（ウ、エ、オは順不同も可）

問 23（２点×３）

ア	臀部	イ	正中線	ウ	正位（眼耳水平位）

問 24（２点×５）

ア	頸椎	イ	胸椎	ウ	腰椎
エ	仙骨	オ	尾骨		

問 25（ア～エ×１点、オ～キ×２点）

ア	Ｔｅｌｌ	オ	心配していることを伝える
イ	Ｌｉｓｔｅｎ	カ	絶望的な気持ちを傾聴する
ウ	Ｋｅｅｐ	キ	安全を確保する
エ	Ｓａｆｅ		

問 26（２点×２）

ア	２９	イ	３００